

## 第16回通常総会

# 設備設計分離発注の推進へ

## —平良保会長ら全役員を再任—

当協会の平成10年度第16回通常総会は、5月22日午後2時から那覇市内の沖縄ハーバービューホテルで開催され、過年度事業報告と収支計算書を全会一致で承認、新年度事業計画など全議案を原案通り決定した。また、任期満了に伴う役員改選では、平良保会長をはじめ、宮良洋三、仲村義和、安谷屋幸助の3副会長、理事、監事の全役員を再任し、組織の強化を目指していくことになった。



この日の総会には、正会員40社のうち、28社が出席、各議案毎に慎重審議が行われたが、冒頭であいさつに立った平良会長は、『この一年間、関係団体と協力し、協会を理解してもらえようアピールして、交流を深めてきた。とくに私たちの懸案問題になっている設備設計・監理業務の分離発注については、発注官庁への陳情を強力に推しすすめる中で県の手応えもかなりのものを得たし、糸満市から検討するとの趣旨の回答があり、また、那覇市としてはJV発注を進めるとの正式な報告を得ているので、今後とも継続して陳情活動を行い、成果を上げていきたい』とした上で、さらに『資格法制化の早期実現については、〔社〕日本設備設計事務所協会が、中央で政府に法制化を強く訴えるための準備を進めているので、我々協会もそれに協力していきたい。

また、協会の社団法人化については、地域社会への貢献事業など、地道な努力と活動で条件整備をはかり、早期実現の可能性を探っていきたい』と述べ、各事業委員会が目的と責任意識をもって、協会の企画、推進への積極的な参加を呼びかけた。

議案審議では、新年度事業計画として、①建築行政機関への行政施策実施に対する協力及び提言、②建築設備設計のCAD利用及びFD取扱いに関する調査研究、③建築設備設計及び工事監理報酬に関する調査研究、④建築設備設計事務所の地位の向上（資格法制化問題）、⑤建築及び設備関係団体との相互交流、情報交換、⑥会誌の刊行ならびに技術の研鑽、⑦法人化の促進。

新役員(再任)は次の通り。

△会 長 平良保

△副会長 宮良洋三、仲村善和、安谷屋幸助

△理 事 仲田寿治、大村政興、島崎健、保井明博、赤嶺健範、松川清次、真喜屋実郎

△監 事 金城準清、我那覇生蔵

なお、この日は総会終了後、引き続き午後6時から〔社〕設備技術者協会九州支部沖縄会と共催で『合同懇親会』が開催さ

れたが、この懇親会には沖縄総合事務局、県、那覇市など行政当局をはじめ、関係団体多数を招き、正会員、準会員、賛助会員を交え懇親を深め、賑わった。





# 交流を深める

